

## 特定非営利活動法人ふくてっく第12回総会議事録

1. 日 時：平成24年 8月 3日 13時30分から15時07分まで
2. 場 所： 大阪市社会福祉研修・情報センター 3階会議室
3. 出席正会員数：32名（うち委任状出席者数8名） 正会員総数 38名

事務局長中北 清は、上記のとおり正会員数の過半の出席があったので、総会が有効に成立する旨報告し、続けて議長の選出を諮ったところ、小川忠雄理事長を議長に推す声があり、全員の賛同を得た。

#### 4. 開会の宣言

理事長小川忠雄は、選出を受けて議長席に着き、13時32分 特定非営利活動法人ふくてっくの総会の開会を宣言し、議事に入った。

#### 5. 書記および議事録署名人の指名

冒頭、議長は本総会の議事録作成を 中北事務局長 に命じ、また議事録署名人には、清水理事、和泉理事の両名を指名した。

#### 6. 議 事

##### 第1号議案 平成24年度活動報告および各部収益費用報告承認の件

###### 理事長総括

議長は自ら、24年度活動状況を総括し報告した。

###### 事務局報告

議長は中北事務局長に、事務局活動の報告を求め、中北は資料に沿って報告した。事務局長は運営会議が理事会とは異なり、誰もが参加できる議論の場であり、その合意事項は会員の共通認識であるべきこと、とともにそれらは決して動かさない決定ではなく、柔軟に議論対象になるものであること、よってより積極的な関与を求めると訴えた。

###### 木工活動

議長は自ら24年度に廃部後、本部預かりとして牽引してきた木工活動の経緯を、資料に沿って報告した。

###### 福祉用具部会

議長は福祉用具部の活動について、古場会員に報告を求め、古場会員は24年度活動概要および関係会員合意の上で休部を運営会議に申し出て、本日理事会で承認された経緯を報告した。

###### 住環境研究部会

議長は、畑担当部長が欠席のため、替わって同部の24年度活動概要を報告した。

###### 研修部会

議長は同様に研修部会についても、24年度活動概要を報告した。

#### 東大阪部会

議長は東大阪部会の活動について清水理事に報告を求め、清水理事は資料に沿って24年度の活動経過について、東大阪市での検証活動の進展、尼崎市での新たな委託事業の胎動が、それぞれ目論見通りとは言えないが、順調であること、部会が独自予算を持って取り組んでいる社会貢献活動もやや遅滞気味ながら健闘中であることなどを報告した。

#### こむねっと事業部会

議長はこむねっと事業部会の活動について中北理事に報告を求め、中北理事は資料にそって、多岐に亘る事業の経過およびその短期成果検証を報告した。

#### 20周年記念事業検討委員会

議長は20周年記念事業検討委員会の活動経過について清水理事に報告を求め、清水理事は、リーダー担当を畑理事から引き継ぎ、以降の経過について説明を行った。

議長は、以上理事長総括に始まる各部活動報告および収益費用方向について、意見を求めたところ、特に異議はなかったので、採決に移り、全会一致でこれを承認した。

#### 第2号議案 平成24年度決算報告承認の件

議長は和泉理事に、24年度決算報告を求め、和泉理事は活動計算書、貸借対照表、財産目録、財務諸表の注記の諸表を示して報告した。

議長は以上報告に基づいて、意見を正したところ、異議なく全会一致でこれを承認した。

#### 第3号議案 監査報告承認の件

議長は秋岡監事に、監査報告を求め、秋岡監事は監査報告書を示して法人の財産管理状況、会計状況、その他の状況について問題がないことを報告したので、全会一致でこれを承認した。

#### 第4号議案 平成25年度活動計画の件

##### 木工活動方針

議長は自ら、ふくてっく木工活動の趣旨は、自由木工を通じて子供たちに主体的な木工体験の場を提供することを通じて、その自主性と創造性を育むことにありと表明し、大きな収益は期待できないなかで、趣旨に賛同する多くの会員の参加を訴えた。また基本的にわずかでも収益がいただける事業については、その1割を本会経費に充てて、他を必要経費と参加会員活動費に配分する計画であるが、大阪市こどもカーニバルのように収益が期待できないケースについては、木工活動の趣旨が、ふくてっくの理念・ミッションにおける正当性に鑑み、その費用を本会から捻出することに理解を求めた。

一同、議長の提言には異議なく、これを全会一致で承認した。

#### 住環境研究部会

議長は、畑理事に替わり住環境研究部会の活動計画について報告する中で、同部会は、畑理事の強い意向で学習会が継続的に企画されており、それらはふくてくの全会員に開かれており、内容的にも意義深いので多くの会員の参加を求めたいと発言した。一方で、住宅改修に関する取組など、全会的な検討課題も多く、部会再編を視野に入れて検討している旨の表明があった。

#### 研修部会

議長は続けて、研修部会の活動計画についても報告し、苅田会員に依存して継続し

てきたパソコン教室が、同会員の健康回復を最優先すべき状況の中で、見通しを立てられない状況にあることを報告した。

#### 部会再編にかかる理事会発議

議長は、以上3部会・活動、またこれに休部となった福祉用具部を含め、ふくてっくの全会員がより活発に参加できる体制に改める必要があると述べ、総会に先んじて開催した理事会の決議として、これらの部会要素を糾合して、必ずしも部会に拘らない“集える場”として集約するとともに、今後の住宅改修については事務局において一元管理したい旨を表明した。

#### 東大阪部会

議長は東大阪部会の活動計画について清水理事に報告を求めた。

清水理事は資料に沿って、東大阪市および尼崎市における委託事業が昨年度に引き続き順調に発展してゆくことに併せ、昨年度は必ずしも計画通りに進捗しなかった各種取組についての活動予定を詳細に報告した。

#### こむねつと事業部会

議長は、こむねつと事業部の活動計画について中北理事に報告を求めた。

中北理事は、こむねつと事業部の多岐に亘る事業構想を短期ロジックモデル（事業スケジュールプラン）を示して報告した。

こむねつとが取り組もうとしている障害者の住環境改善とは、従来のふくてく住宅改修と異なり、障害者の自立生活支援の一環として、障害者支援団体や障害者自身を主体とするものであること、また障害の有無・状況を念頭においているのであって、高齢者を排除しているものではないことなどを説明。

新規に取り組む「既存建物再活用調査業務」については、その社会的意義に基づく起業趣旨を説明し、業務取組規定を示して賛同者の参画を呼び掛けた。

#### ふくてっく発足20周年記念事業検討委員会

議長は、いよいよ20周年記念事業年度に入ったことを述べ、同検討委員会の計画報告を清水理事に求めた。清水理事は、資料に沿って今後の活動計画の概要を説明する中で、先に案内した「関係者への案内状」の内容や取扱い等についても、抜本的に再考中であることなどを報告した。

議長は、以上各部・活動の計画表明および議長の部会再編構想について、参加会員に意見を求めた。会場からは特段の意見表明はなく、採決に移ったところ、全会一致でこれを採択した。

#### 第5号議案 平成25年度予算計画

議長は、中北事務局長に25年度予算計画の説明を求めた。

中北事務局長は、予め配布したの予算計画資料には、一部予算提出が遅れた部会の収益費用が加味されていないことを前置きしながら、24年度予算・決算と比較しながら25年度予算の説明を行った。

この中で、固定収益である会費収入は年を追うごとに会員減少の結果として逡減傾向を脱し得ていないこと、全体として約30万円弱の赤字予算になったが、20周年記念事業の特別予算を含んでいるので、組織運営上の問題ではないことなどを報告した。

議長は、以上の報告を受けて賛否を問うたところ、異議なく全会一致でこれを承認した。

#### 第6号議案 役員改選の件

議長は、本年が理事改選の年に当たっていることを述べ、理事会の意向として、

現理事である小川、杉浦、和泉、清水、苅田、畑、中北の7理事のうち、本人の希望等に基づいて和泉、苅田、畑の3理事を退任させ、新たに岡道信、曾我部千鶴子の2名を理事に加えたいとして、意見を求めた。

これに対して、会場からは異議なく、全会一致で承認した。

監事については改選時期ではないので、引き続き秋岡、稲住監事が留任するとの説明があり、一同これを理解した。

続けて、本来は新理事による理事会で互選すべき理事長の選任について、会場に意見を求めたところ、小川理事長の留任を求める声が発せられ、これに対する異議はなかった。

また、併せて副理事長候補についても、清水、中北の2名を推挙する声があり、反対意見は表明されなかった。

正式には新理事によって構成される25年度第1回理事会の議題として諮ることとする。

議長は、以上をもって特定非営利活動法人ふくてっくの総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(15時07分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は、次に記名押印をする。

平成25年 8月 3日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印